

北海道男女平等参画 チャレンジ賞

平成21年度

梅木あゆみさんの
ガーデニング講習会の▶
様子



◀本町かみさん会の
「来い来い番屋の生鮮広場」



ごあいさつ

北海道知事 高橋 はるみ

平成21年度の北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆様、おめでとうございます。この賞は、それぞれの個性と能力を生かして活躍されている方々の活動を称えるとともに、その活動を広く紹介することで、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目指し、平成16年度に創設したものであり、これまで道内各地で様々な分野においてチャレンジを続ける方々を表彰してまいりました。

今年は、「家庭生活と両立しつつ、個性を活かした起業」、「昔の賑わいを取り戻そうとする地域振興」という新たなチャレンジに出会うことができました。今後も、創造と挑戦の精神をもった、こうした取組が道内各地に広がっていくことを期待しています。

受賞された皆様におかれましては、今後も一層ご活躍され、ますます輝きを増していられるよう、心からお祈り申し上げます。

受賞された皆様へ

北海道男女平等参画審議会専門部会

部会長 株式会社北海道アルバイト情報社取締役 佐藤 正啓

平成21年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆様にご心よりお祝いを申し上げます。

育児をしながら自分の趣味を起業につなげ、まちづくりにも貢献している月形町の梅木あゆみさんの姿は、育児をされている方々や、これから育児をしようとする多くの方々にヒントと勇気を与えてくれると感じています。

中高齢の女性が中心となって、いわゆる「シャッター街」の再活性化に取り組んでいる石狩市の本町かみさん会の活動は、高齢化、過疎化といった同様の問題を抱えている他の多くの地域のみなさんにとって、一歩を踏み出すための力を与えてくれる好事例ではないでしょうか。

今年度の受賞者に共通する特徴は「行動力」です。率先して新たなステージを切り拓く姿が、多くの道民からの共感を呼び、それらの方々の今後の活動にもつながっていくことを願ってやみません。

受賞者の皆様のご活躍と、他の多くの方々のこれからのチャレンジを大いに期待しています。

《北海道男女平等参画チャレンジ賞とは》

職場、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を生かしてチャレンジし、活躍している男性や女性、団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援している団体・グループを顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことによって、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的としています。自薦・他薦を問わず候補者を募集しています。

賞の種類は次のとおりです。

- ・輝く女性のチャレンジ賞 (受賞者が女性個人の場合)
- ・輝く男性のチャレンジ賞 (受賞者が男性個人の場合)
- ・輝く北のチャレンジ賞 (受賞者が団体・グループの場合)
- ・輝く北のチャレンジ支援賞 (チャレンジを支援している団体・グループの場合)

【輝く女性のチャレンジ賞】

梅木 あゆみさん

(月形町、有限会社コテージガーデン代表取締役)

出産を機に、生まれ育った月形町にUターンし、一女三男の子育てをしながら趣味でガーデニング用の花苗を作り始め、その趣味が高じ、子育て真っ最中の1995年に生産直販園芸店コテージガーデンを創業。あまり出回っていない種を輸入し作る花苗の販売や、そのガーデニング手法などが評判となり、仕事の幅は徐々に広がっていきました。現在では本拠地月形その他、札幌市の百合が原公園にも店舗を構えるに至り、また、仕事の内容も多岐に渡り、植物苗約2000品種の生産直販の他、道内の公園やガーデンのプラン、植栽工事、管理などを担当し、多くの人にガーデニングを楽しむ提案を行っています。

こうした趣味を起業につなげた活動は、個性と能力を活かしたチャレンジ



の一つのモデルであり、さらに、その事業と子育てを両立している姿は、社会一体となって取り組んでいるワーク・ライフ・バランスの一つのモデルでもあります。

講演等の活動も積極的に行っていて、園芸に関する活動だけではなく、子育ての傍ら起業した経験を活かし、男女平等参画に関するフォーラムに参加してパネリストを務めるなど活躍の場を広げており、今後の活動に更なる飛躍が期待されます。



【輝く北のチャレンジ賞】

本町かみさん会

(石狩市、会長・村田 陽子さん)

国道231号の一部であった石狩川渡船で知られる石狩本町地区は、江戸時代から昭和50年代前半まで町役場、金融機関、商店、食堂などが立ち並び賑わいのある地区でした。

しかし、昭和40年代から札幌に隣接する地区に建設された大規模な住宅団地の影響や石狩河口橋が建設され、国道が市街の中心から離れたことによる人の流れの変化により、活気を失い、閑散としたいわゆるシャッター街となってしまいました。

この状況に危機感を持った地元の主婦たちが「人々の交流があり、活気が戻る町おこしを」と

2004年に「本町かみさん会」を立ち上げ、翌年「来い来い番屋の生鮮広場」をオープン。現在、11名のメンバーが、食材や地元石狩の話題で盛り上がりながら、魚屋・八百屋・食堂等を明るく、元気に営むほか、地域活性化のためにイベントを開催するなどしています。

こうした主婦による町おこしの活動は、女性の参画による地域の活性化の一つのモデルであり、噂を聞いてやって来た遠方からの観光客はもとより、地元の高齢者の利用も多く、大勢の方々が元気な「おばちゃん」との会話を楽しみにやって来ていることから、他地域の人々との交流だけではなく、地元の人々の交流の場としての発展も期待され、より一層の「賑わい」が望まれるところです。



《賞状》

揮毫 平田 鳥 閑 氏



◀ 輝く女性のチャレンジ賞
梅木あゆみさん

▶ 輝く北のチャレンジ賞
本町かみさん会



《副賞》

道産ナラ材製置き時計

【これまでの受賞者】

○平成20年度の受賞者

輝く男性のチャレンジ賞…坂田秀明さん（置戸町、置戸町観光協会事務局長）

輝く北のチャレンジ賞…レディース100年の森 林業グループ（南富良野町、代表・鷹嘴充子さん）

輝く北のチャレンジ支援賞…札幌市立藤の沢小学校保護者と教師の会（札幌市、会長・星卓志さん）

○平成19年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…湯浅優子さん（新得町、「つつちゃんと優子の牧場のへや」経営）

輝く女性のチャレンジ賞…谷あゆみさん（帯広市、ばんえい競馬調教師、谷厩舎経営）

輝く女性のチャレンジ賞…川上博美さん（旭川市、株式会社コサイン社員）

○平成18年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…斎藤ちずさん（札幌市、NPO法人Jカリーゴ理事長）

輝く女性のチャレンジ賞…岡田ミナ子さん（遠軽町、有限会社トゥリリアム・オカダ・ファーム取締役）

輝く女性のチャレンジ賞…古内一枝さん（札幌市、株式会社スポーツショップ古内取締役）

○平成17年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…田澤由利さん（北見市、株式会社ワイズスタッフ代表取締役）

輝く北のチャレンジ賞…NPO法人お助けネット（白老町、代表・中谷通恵さん）

輝く北のチャレンジ賞…西川マザーウッズ（静内町、会長・船越孝子さん）

○平成16年度の受賞者

輝く女性のチャレンジ賞…星川光子さん（登別市、NPO法人「いぶりたすけ愛」理事長）

輝く男性のチャレンジ賞…馬淵悟さん（札幌市、北海道東海大学教授）

輝く北のチャレンジ支援賞…株式会社アイワード（札幌市、代表取締役・木野口功さん）

北海道環境生活部生活局参事 男女平等参画グループ
平成22年2月
TEL:011-204-5217(直通) FAX:011-232-3640